



受大総第 1899 号
令和3年12月17日

大山町議会議長 米 本 隆 記 様

大山町長 竹 口 大 紀



大山町議会からの政策提言について(回答)

令和3年11月25日付け発大議第522号をもって提出のあった標題の件
について、別添のとおり回答します。

大山町議会からの政策提言について
回答書

令和3年12月17日

①大山チャンネル作成委託料

番組内容として、地域の課題・行事・暮らし・情報を紹介する番組が月2本、住民参加をコンセプトにした企画番組を月1本制作するようになっております。企画課と合同で実施するアンケート調査に、大山チャンネルに関する項目も入れ、視聴者の意向等を調査する予定です。その結果も含めて、受託者の自主性を損なうことのないよう、今後の番組内容等を検討したいと思っております。

②大山恵みの里づくり促進事業補助金

農協や市場などの出荷にまで至らない小規模な生産者等についても、その価値やブランド力等に着眼し、取り扱いを行っている点などは、公社の公益的な取り組みとして評価できるものと考えております。また、公益・収益部門の区分けなどに課題はあるものと認識しており、今後、具体的な検討を行っていく考えです。

③ファミリー・サポート・センター

- ・平成31年1月に実施しました「子育て支援に関するアンケート」の中で、「事業の認知度、利用経験、利用希望」を尋ねる項目があり、認知度については81.9%の方からファミリー・サポート・センター事業を「知っている」との回答がありました。また、「これまでこの事業を利用したことがある」との回答の割合は6.0%、「今後利用したい」との回答の割合は34.6%という結果でした。

今後も、赤ちゃん訪問、保育所、放課後児童クラブ等の様々な場面でファミリー・サポート・センター事業について広報し、必要な時に利用していただけるよう事業の周知をしていきたいと考えています。

また、対象者のニーズについては、託児無料体験会や交流会を通して利用者さんの意見を聞き、把握していきたいと考えております。

- ・「利用料の一部を町が負担する」ことについては、上記の結果をふまえて検討していきたいと考えております。
- ・毎年、年度の初めころに広報で会員募集の記事を掲載し、制度の周知につとめております。今後も引き続き制度の周知につとめるとともに無料体験会の開催数を増やすことも検討していきたいと考えております。
- ・鳥取県内では当町も含め町村のほとんどで、1時間500円での利用料が基本となっております。今後は、他町村の動向をふまえて検討していきたいと考えております。

④成人式

- ・式典の構成については、検討いたします。
- ・実行委員に必要なアドバイスに関しては、社会教育担当職員の専門性を高めることで、ご提言の趣旨に沿えるよう対応してまいります。
- ・時間活用について、町として式典を開き、新成人の門出を祝福するという目的を果たせるよう工夫してまいります。
- ・ふるさとの良さを効果的に伝える方法として、大山町紹介映像等を会場で上映し、その映像データを記念品としてお渡しすることなどを検討します。
- ・実行委員応募者が少ない状況が改善されるよう、未成年者に対して、将来への意識醸成につながる取り組みを検討してまいります。

⑤大山町観光協会補助金

観光協会中山支部、名和支部、大山支部、大山町観光協会、そして一般社団法人大山観光局の組織体制及び位置づけが、合併当初から続いており、合併後 15 年以上の月日が経過したところです。また、昨今の社会情勢の変化により、組織体制及び位置づけの見直しが必要かと思われますので、今一度組織体制及び位置づけを整理したいと思っております。

また、アフターコロナを見据えて、今から各観光協会支部との連絡会などを開催し、目的や共通認識を図り、関係団体や商工部門との連携を密にし、大山町の観光振興並びに大山町への誘客を促進してまいりたいと考えております。

今後、新規に行われる町内ツアーやイベントの収益化に向けては、実施主体と、関係機関との連絡や調整を行い、自走できるようにバックアップしていきたいと考えております。

⑥就農条件整備事業

担い手・後継者育成の支援については、今後も関係機関と連携を図りながら新規就農者の確保、定着を目指します。

併せて、各集落で行う人・農地プランの実質化や、中山間地域等直接支払制度での集落戦略策定等の話し合いの中で、地域農業の後継者・担い手の有無について確認し、それぞれ必要な支援策を検討し進めてまいります。